

WURC NEWS Vol.56

編集:河内 章(主務)

矢代 貴昭(COX)

先週の一週間

冬練 6 週目、今年最後の 12kmT.T.が土曜日に行われた。例年トライアルは朝早くに実施される傾向にあったが、今回のタイムトライアルはコースの渋滞や気温を考慮し昼間に実施された。目立った活躍を見せてくれたのが今月から組まれているペア艇勢。やや横風があったものの、今年の特校エイト経験者 6 名で組んだこともあり、高いスイープパフォーマンスを披露してくれた。また女子では前回トライアルに続き原口(スポ1)がトップを死守。次回 T.T.にて高校の先輩でもある晦日にどこまでついていけるか期待したい。「まだまだやるべきことはあるが、来シーズンのインカレ優勝への準備段階としては悪くない。」と上谷主将は冬練での着実な成長を実感したようであった。



Active Motion ではエイトに乗艇し、6ワークを繰り返した。

晦日東アジア準優勝

12/9~12 の計 4 日間、第 5 回東アジア競技大会が香港のニューテリトリーにて開催された。早稲田から晦日尚子(教2)が中部電力の坂東選手と女子軽量級ダブルスカルで出漕し、1位中国へわずか 1 秒差に迫る 2 位という結果を残した。「東アジアに向けて練習してきたこと、学んだこと、自分の中での気持ちの変化はどれを採ってもとても大きなことばかりでした。」と晦日。「思うような艇速が出ず苦しんだこともあった。不安と迷いが生じた時に信じることを努力することを怠ってはいけなく強く感じた。それはただ頑張るということではなく、ボートに対し真摯に向き合い集中することが大事。」と、心身共に一回りも二回りも成長した姿を見せてくれた。今季早慶戦に抜擢されたことから始まり、軽量級 1 × 準優勝、インカレ 1 × 準優勝、全日本選手権 4 × + 優勝と大活躍を見せた彼女だが、「参加することが出来たその事自体にとっても感謝している。」と謙虚なコメント。昨年の夏、部内選考から漏れ、サポート組に徹していた彼女にとっては、もしかするとこの一年間の成長・活躍を自分自身が一番驚いているのかもしれない。来季もミラクルガールの躍進は止まらない。



(左から)坂東選手、晦日、OGの岩本選手



ミラクルガールは英文学を専攻

今週の狙い

いよいよ年内最後の練習週。6kmT.T.に加え 2000mT.T.とエルゴトライアル尽くしの週となる。「自己の成長」が目的であった冬練において、どれだけ自分の力を伸ばすことができたのかが、はっきりと数字として表れる。今季の集大成として自己記録更新さらには日本代表を目標にトライアルに臨む。また、日曜日には 12 時から艇庫にて「進水式・納会」が開催される。

今年一年の締めくくりに 1 人でも多くの艇友にご参加いただきたい。

	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20
AM	OFF	Active Motion				2000mT.T.	RUN
PM		3km SubMAX	6kmT.T.	60分エルゴ	2000m SubMAX	大掃除 女子祝勝会	納会・進水式